KUMEJIMA TOWN NEWS

広報くめじま

9 2020月号 NO.222

令和2年7月末現在

人口の推移

男 4,102人
女 3,618人
計 7,720人
4,003世帯

真夏の夜の風物詩 ペルセウス座流星群♪

久米島町公式LINE
はじめました！
ID:@kumejima

LINE お友だち登録は こちらから！

町民の皆さまに
役立つ情報をお届け！

- ●イベント等の事前告知や開催状況
- ●各種届出や手続きなどの行政情報
- ●災害や防犯などの緊急情報

久米島町国民健康保険
収納対策緊急プラン

1．国保資格及び滞納状況の解消

（1）他保険者の把握に努め、早期に資格喪失届の提出を勧奨する。また、大幅な遅延者については、担当職員による調査等に基づき職権で国保資格を喪失させる。

（2）所得未申告者へ文書や臨戸、電話等により申告勧奨を行い、適正課税に努める。

（3）時効完了前に納入勧奨を行うとともに、時効が完成したら迅速に不納欠損処理を行う。

（4）失業・疾病等による納付困難な世帯について、町減免規定により積極的推進を図る。

（5）非自発的失業者の軽減措置等の減免制度を国保加入者へ周知を行う。

（6）年２回、徴収催告書を送付し、納付の勧奨を行う。

2．徴収方法の改善等の取組について

（1）短期被保険者証の交付により、滞納者との接触の機会を図り、納付指導を行う。

（2）１年以上の長期滞納者については、資格者証の交付を検討する。

（3）新規加入者に対し、保険税の自主納付及び納期内納付の自覚を植え付けるため、口座振替の勧奨を行う。

（4）広報誌や町ホームページ及び職員等の訪問徴収において、口座振替の勧奨を行う。

（5）11月及び12月を徴収月間と位置づけし、収納強化を図る。

（6）コンビニ収納の周知を図るなど、納税者の利便性向上に努める。

（7）久米島町ホームページの一層の充実を図り、ホームページ等を通じて、国民健康保険制度の周知を図る。

3．滞納処分実施の取組について

（1）現年度課税分徴収対策の強化

● 令和２年度に発生した滞納を発生直後から早期に財産調査を行い整理する。

（2）滞納繰越分の対策強化

● 滞納者には、財産調査を行い滞納処分を実施する。

（3）少額滞納案件の整理強化

● 少額滞納案件を11月、12月の期間に集中的に整理を行う。

（4）執行停止等の強化

● 財産調査結果に基づいて、納税資力の見極めを行い、滞納処分により著しく生活を窮迫させるおそれのある場合において、執行停止処分を行う。

お問合せ　福祉課 保険・年金班 国保担当　☎985-7124

難病患者等 渡航費助成について

今年度も小児慢性特定疾病患者、指定難病患者、ガン患者等の方に対して島外医療機関へ通院する渡航費の一部助成を行っています。

◇対象者

- 難病患者に対する医療等に関する法律に基づき沖縄県が交付する受給者証を有する者
- 児童福祉法に基づき沖縄県が交付する小児慢性特定疾病医療受給者証の交付を受けている者
- 悪性新生物（ガン）に罹患している者であり、かつ、本町以外の医療機関での通院治療が必要と医師が認めた者
- 島外の専門の医療機関で妊婦健康診査が必要であると医師が認めた者
- 本町において治療ができず、島外の専門の医療機関での治療を必要とする児童で町長が特に必要と認めた者

【付添人】

◇対象者が未成年の場合
◇対象者が介護認定証をお持ちの場合
◇特別な理由があり、医師により付添人が必要と認めた場合
【助成額】：対象者／付添人　往復1万円を上限とする
【助成回数】：ガン、指定難病患者、妊婦健診（年度 12 回）
小児慢性、小児助成対象児、（年度 5 回）

《申請について》

申請を受ける際は、医師の記載を必要とする意見書「島外の医療施設における治療等の必要性に係る意見書」の提出が必要となります。年度、初回申請時に必要となりますので事前に福祉課でお受け取りください。
※事業詳細は福祉課までお問い合わせください。

お問合せ　福祉課　☎985-7124

9月21日は世界アルツハイマーデー

世界アルツハイマーデー（９月21日）とは、（世界108の国と地域が加盟している）国際アルツハイマー病協会が、認知症の理解をすすめ、本人や家族への施策の充実を目的に1994年に制定しました。

○ 認知症になったら「何もわからない・何もできない・異常な行動をする」という考え方は、もう古い？

かつて、認知症になった方は「何もわからなくなり、異常な行動をする人」と思われており、認知症をもつ方の尊厳を無視し、見下した考えを持つ社会環境がありました。このような間違った考え方を変えるため、1980年代末に英国の臨床心理学者のトム・キットウッド氏によって「パーソン・センタード・ケア＝1人の“人”として尊重してケアをしていく」という考え方が提唱され、現在、日本においても「パーソン・センタード・ケア」の考え方が広まっています。

~~何もわからなくなる・異常な行動をする~~ ➡ 脳の障害とその他の要因でうまく自己表現できず、困っている

○ 認知症の方の言動には理由がある！

例えば、自分で財布を隠したが、よく世話をしてくれるお嫁さんを犯人扱いする。（※身近な人が疑われやすい）

財布がない → 探しても見つからない → 自分が隠した覚えがない → 不安になる → 嫁が財布を盗んだ

この場合、「不安になる」ということが、原因になっていると思われます。しかし、不安を感じている理由は、財布を無くしたことだけとは限りません。いろいろな不安が積み重なっているかもしれません。

もっと認知症の方を知ろうとすることで、様々な理由と関わり方が見えてくるはずです。

認知症の方への関わり方は、十人十色で様々です。ご相談があれば、福祉課（地域包括支援センター）まで。

ケアマネージャー（介護支援専門員）ってご存じですか？

介護サービスを利用する際に、大切な役割を持っている“ケアマネージャー”という介護の専門職がいます。

例えば、介護サービスを利用する際は、“ケアプラン＝介護サービス提供の計画”が必要ですが、それを作成することも“ケアマネージャー”の業務の一つです。

ケアマネージャー業務
- ○サービス利用の相談・アドバイス
- ○要介護認定などの手続き代行
- ○ケアプランの作成・見直し
- ○介護サービス提供事業所との連絡調整

など

しかし、久米島町では、高齢者化が進み、介護を必要としている方の増加や専門職の不足などのため、十分な介護サービスを利用することが難しくなってきております。そのため、地域住民の助け合い活動が大切になってきております。

ケアマネ会議の様子

ケアマネ会議では、ケアマネさんが集まって、町の介護に関する課題の検討や介護サービスの連絡・調整を行ったりします。

連絡先
福祉課（地域包括支援センター）
TEL：985-7124　担当：安里・平良

ありがとうの気持ちを

大岳小学校

7月27日、大岳小学校の児童会（吉本一景さん、當間彪真さん、安里花音さん、花城大松さん）が大田町長を訪れ、感謝の気持ちを手紙にしたポスターを手渡しました。

手紙には、マスク無料配布事業や、給食費全額無償化などの、新型コロナウイルス感染症に関連する久米島町緊急経済対策に対する感謝の気持ちが綴られていました。

ポスターは仲里庁舎に掲示しています。

球場にハーモニーが響く

中学吹奏楽部合同応援

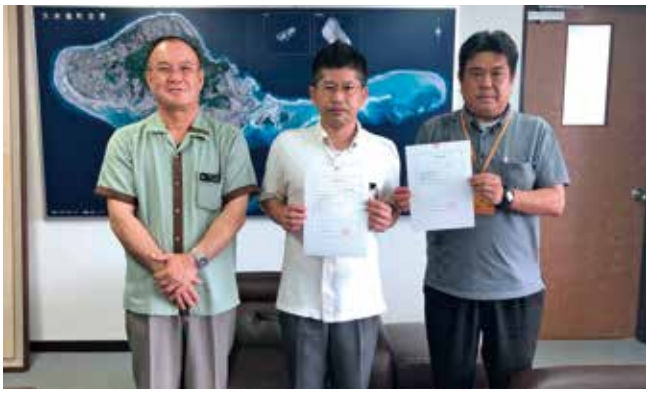
久米島西中学校と球美中学校の吹奏楽部合同の応援演奏が７月23日、久米島野球場で行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、コンクール等が延期となったことから、両校吹奏楽部の発表の場を作りたいとの思いで企画されました。球美中の大城七音部長は「久しぶりの演奏で緊張したけど楽しめた。ハーモニーがあってきてとても盛り上がった」、久米島西中の山城美咲部長は「練習の成果が発揮できた。悔いの無いよう楽しんで野球部を応援したい」とそれぞれ感想を話しました。

県税職員町税務職員併任

辞令交式

７月16日、沖縄県税務職員の久米島町職員併任辞令交付式が行われ、大田町長から沖縄県税務職員の与那嶺一主査（写真右）、田港朝也主査（写真中央）、伊山真太郎主任の３名へ辞令が交付されました。併任された職員は主に、巡回相談や徴収事務等の支援を行います。

辞令を受けた３名の任期は７月１日から３月31日までです。



次世代にバトンタッチ

久米島町婦人会

７月13日、久米島町婦人会が大田町長を訪れ、新会長の就任を報告しました。任期満了に伴う役員交代もあり、会長に上江洲幹子さん、副会長に、仲宗根麻衣子さん、我那覇恵子さんが就任しました。

以前から婦人会の活動を行うメンバーは「担い手がおらず、存続は難しいと思っていたが、世代交代が出来てとても嬉しい」と話し、新会長の上江洲さんは「これからは、勉強会なども含めたくさん活動をしていきたい」と話しました。

教育委員会だより

「久米島町夏休みものづくり体験教室」

８月１日に具志川農村環境改善センターで、「夏休みものづくり体験教室」が行われました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、「ビーズ教室」、「小物作り教室」、「フォトフレーム教室」、「ジェルキャンドル教室」の４つの教室を開催しました。約100人の児童らが参加し、父兄が見守る中、各教室で一生懸命作品づくりに挑戦しました。

「久米島町複合型防災・地域交流拠点施設」の正式名称及び愛称の決定について

ほんのもり に決定！

LIBRARY 図書館準備室だより

令和2年6月1日から6月30日まで募集していました久米島町複合型防災・地域交流拠点施設の愛称が公募により集まった96点の中から、久米島町複合型防災・地域交流拠点開館準備委員会の選考により決定いたしました。

今後は、決定した愛称と共に多くの方々に親しみを持って利用していただける施設となるよう、整備を進めてまいります。

たくさんのご応募ありがとうございました。

正式名称：久米島町複合型防災・地域交流センター
愛　　称：ほんのもり
応 募 者：新崎 真央 さん
選考理由：ひらがな表記で子どもからお年寄りまでわかりやすく、施設が自然に囲まれていることや施設の目的がイメージしやすい愛称であるため。

全国市町村教育委員会及び沖縄県市町村教育委員会連合会表彰

昨年７月まで２期８年町教育委員を務めた山元朝弥さんが、長年にわたり教育委員として教育行政に多大な貢献をしたとして全国市町村教育委員会及び沖縄県市町村教育委員会連合会より表彰を受けました。８月の教育委員会会議後、吉野剛教育長より山元さんに表彰状が授与されました。

山元さんは「保護者目線で町の教育行政に対してアドバイスができたと思います。受賞できてとても嬉しい」と話しました。

記事に関するお問合せ　久米島町教育委員会　教育課　☎985-2287

消防だより

令和2年9月号

署内救助展示訓練

▲訓練に取り組む救助隊員

７月21日(火)、消防本部内において署内救助展示訓練を実施しました。近年多様化する災害を想定し、技術、迅速・確実性、安全管理、隊員間連携などを主眼に同じ想定を２班により実施し確認・評価を行いました。同じような災害現場はなく、多種多様な活動が求められるため、日頃の訓練の積み重ねがとても大切になります。今後もレベルアップを目指し訓練に励んでいきます。

消防団新車両配備！

このたび消防庁国民保護・防災部地域防災室長より平成30年度消防団車両等無償貸付事業により、救助用資器材・小型動力ポンプ搬送車が久米島町消防団に配備されました。地域防災の要である消防団員の災害対応能力の向上と、地域防災力の一層の強化を目指していきます。

消防団お疲れ様でした

今年６月１日付けで消防団員７名が退団されました。消防団として火災現場における警戒、捜索活動や火災予防の広報活動など多岐にわたる活躍に敬意を表します。長年にわたる消防団活動お疲れさまでした。

- 山里昌樹　副団長　(団歴25年２ヶ月)
- 大田直樹　分団長　(団歴21年１ヶ月)
- 宮里　誠　部長　(団歴16年10ヶ月)
- 浜元敏明　部長　(団歴19年２ヶ月)
- 當間和明　班長　(団歴20年１ヶ月)
- 亀島竜星　団員　(６年１ヶ月)
- 又吉夏樹　団員　(２年１ヶ月)

新型コロナウイルス感染症対策にひそむ火災リスクとは

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の観点から手指消毒等の「消毒用アルコール」やレジカウンター等への「飛沫防止用ビニールシート」の設置が増えているところですが、「消毒用アルコール」は消防法に定める危険物第4類引火性液体のアルコール類に該当し、性質として火気により引火しやすく、蒸気でも可燃性で空気より重く低所に滞留しやすい特徴があることから

○「消毒用アルコール」等の設置及び使用時の留意事項

(1)使用に際しては火気の近くで使用しない。

(2)容器等に詰め替える際は可燃性蒸気滞留のおそれがあるため換気を行うこと。

(3)設置・保管する場所は直射日光が当たる場所や高温となる場所を避け、容器の落下・衝撃にも注意が必要。

○「飛沫防止用ビニールシート」を設置する場合の留意事項

(1)火気使用設備・器具、白熱電球等の熱源となるものの近くには原則設置しないように、設置する場合は燃えにくい素材(難燃性、不燃性、防炎製品など)を使用してください。

(2)避難上、支障・消防用設備への影響がある場所には設置しないでください。たとえば誘導灯が見えにくくなる場所やスプリンクラー設備のヘッド付近、自動火災警報器の感知器付近など。

今回ご紹介した内容は大阪市消防局YouTubeチャンネルで配信しています。是非一度ご覧いただき、火災予防に努めていただきますようお願いします。

大阪市消防局 YouTube

http://youtu.be/9NkQGfCYXgc

※火災の早期発見と『逃げ遅れ』を防ぐために住宅用火災警報器を設置しましょう。

住宅用火災警報器の交換の目安は10年です。定期的に作動の確認をしましょう。

○消防法及び久米島町火災予防条例により、すべての住宅に火災警報器の設置が義務づけられました。

※火事・救急・救助は119番へお願いします。

※火入れを行う場合は、必ず消防本部まで連絡するようお願いします。

7月出動状況

- 救　急……34件（202件）
- 火　災……1件（3件）
- 救　助……0件（1件）
- 風水害……0件（0件）
- 捜　索……2件（2件）
- その他……1件（8件）

（　）は、令和2年累計　合計……38件（216件）

KUMEJIMA

学習センター通信

K.G.C

Learning center communication 第59号

ホッと息抜き

コーヒーで地理や世界史の勉強

バリスタでもあるスタッフ森山が、夏休みイベントとして、塾生対象にコーヒー講座を8月8日に開催。地理の授業も兼ねた方コーヒー豆の栽培条件、世界史と絡めた方カフェの歴史、英語で書かれた方フレーバー表の配布など、学習センターならではの講座でした。最後に、3種類のコーヒーを試飲して、フレーバーの表現や合いそうな食べ物を考えました方が、「煮干しの香り」とか個性あふれる回答でした。

ブラジルは飲みやすい

／コスタリカってどこ？＼

白地図に赤道を引いてみよう！

今月のテーマ

夏休み

Let's enjoy SUMMER vacation

夏休みに実施した講座

- 英語文法講座
- 現代社会講座
- ベクトル/数列講座
- 小論文講座
- 拡大版ディスカッション
- コーヒー講座

コラム

毎月、塾生に自由題材でコラムを書いてもらうことにしました！
第3走者は宇江城昌樹くん！次の走者は誰かな？

塾生リレー！ 次は君の番だ！

第3走者 宇江城 昌樹（2年生）

マジックの面白さ

僕が書きました

今回はトランプ・カードマジックについて紹介します。
皆さん、マジックは技術が全てだと思っていませんか？
実は技術よりも話術の方が重要なのです。
技術がいらないわけではないのですが、どんなに上手くても技術だけではどうにもならない場面がどうしても出てきます。
それを話術を使って相手の注意をそらしたり、相手を安心させたりなどして技術をカバーすることができます。
さらに話術には、驚きを大きくしたり、より不思議に見せたりすることができます。
しかしそれらはすぐにはできません。ですが、話術を使いこなせたらより良いマジックができるのです。テレビなどでマジックを見る時も技術だけではなく、話術も見てみると面白いかもしれません。

毎週木曜日
12：00～12：30
FMくめじま
課外授業
～ようこそ久米島学習センターへ～
もよろしくお願いします。

お問合せ
電　話：070－3802－2739
E-Mail：kumejuku@gmail.com

入試がどんどんスタートしていきます!!!

フェイスブック
随時更新中

第15号 じんぶん館だより

はいたい！紀鈴です！
先日久米島高校において、オンラインで地域みらい留学の説明会を行いました！
毎年、東京や大阪などで行われていた地域みらい留学フェスタはコロナウイルスの影響で、今年はオンラインでの開催となりました。先輩たちが学校で説明しているのを、じんぶん館から見ていて、1年前の説明会を思い出しました！
来年はどんな後輩が入ってくるのか楽しみです！
今年は入寮体験が出来ないので、少しでもじんぶん館の生活が分かるようにインタビュー動画をハウスマスターが作ってくれました。よかったらYouTubeで『久米島高校じんぶん館』と、調べてみて下さい！

コロナウイルスの影響で延期となっていた1年生と島親さんとの交流会が開催されました。
交流会では離島留学生一人ひとりが久米島に来て気付いたこと、これから久米島でどうしていきたいかを発表しました。
島で習っている三線や、エイサーをマスターしたいなど、みんなそれぞれ目標にしているものがあって、それを聞けるとてもいい機会でした！
また、他の寮生の島親の方とも楽しく話しができたので良かったです！

じんぶん館ブログ　“離島留学生の日々”も随時更新！ 是非こちらも読んでください。
QRコードで読み取ってください→→

久米島高校 魅力化プロジェクト in OKINAWA

久米島高校「まちづくりプロジェクト」

7月30日、久米島高校の2年生が、総合探究学習「まちづくりプロジェクト」の発表会を行いました。このプロジェクトは、高校魅力化事業の一環で、久米島町の課題とその解決策について、1年生から各グループで取り組み、考えた解決策を町長や町民の前で発表するものです。今年度は、全13グループが発表し、そのうち3グループが表彰されました。

1位 久米島町長賞

生活　久米島のゴミ問題
玉城実里、佐久川万由、与座ゆいな

2位 未来まちづくり賞

地域　島の人との交流
嘉数彩美、宇根あかり、藤本紅葉、渡慶次李世

3位 健康プロジェクト賞

医療　安心して暮らせる島
宮城夏琳、古堅紀香、上間柚姫、三好夏鈴

目指せ！健康あいらんど久米島

初夏から秋にかけて、台風はもちろん、大雨、洪水、土砂崩れなどの自然災害が発生しやすい季節になっています。災害時、妊産婦や乳幼児は健常者と比べて、手厚い支援が必要な災害弱者となります。今月は妊産婦、乳幼児のお子様がいるご家庭の災害対策についてお伝えします。

●避難するときに必要なもの

現在、久米島町で備蓄している防災用品には妊産婦、乳幼児のご家庭で必要なオムツ、ミルク、離乳食、寝具、玩具などの用意はありません。避難バッグを用意できなくても、家族で使うものを少しだけ車に乗せておくことで助かることもあります。日ごろから必要な物を想定して備えておきましょう。

避難バッグリスト

- □母子健康手帳、健康保険証(常に携帯し、大切なページは写真を撮り、クラウドに)
- □オムツ、おしりふき(おしりふきは、体をふく際にも役立ちます)
- □授乳用ケープ、ミルクセット(日ごろの授乳方法に合わせて準備します)
- □スプーン、紙コップ、キッチン用ラップ（コップで少しずつ飲ませる方法もあります）
- □ガーゼ（歯の汚れを落としたり、顔を拭いたり、何かと使えます）
- □抱っこ紐（避難の際や、避難所で両手が使えるように）
- □非常食、離乳食（非常用食は塩分が高めです。離乳食は母乳やミルクで代用したり、大人の食事をとりわけたりすることもできます。市販の離乳食を備えておくと安心です。）
- □ビタミン剤（災害時はビタミン類が不足し、口内炎になることもあるため、用意しておくと良いでしょう）
- □着替え、靴、防寒具（抱っこして避難するときも、歩ける子は靴を履かせておくと良いでしょう）
- □生理用品、ビデ（使いなれた生理用品、生理用ショーツがあると便利です）
- □マスク（避難所内では感染予防としてマスクを着用しましょう）
- □おもちゃ（使い慣れたおもちゃがあると、心のケアができます）

出展：赤ちゃんとママを守る防災ノートより

●災害に備えるために

物を備えるだけが避難ではありません。ご自身の住んでいる場所は安全ですか？ハザードマップを見てみましょう。もしものときの避難先はについて、ご家族で相談していますか？災害時を考えることで、自分が本当に大事にしたいものを見直すことにつながります。まずは身近な人と話してみましょう。いつもの何気ない日常の中で紡がれる人間関係が大きな意味を持ちます。子育てを一人で抱えこむのではなく、皆で助け合い頼りあう仲間を作ることが、いざというときの命綱になります。

●災害が発生したら

災害時は行政も混乱します。支援情報は自分から取りに行く姿勢が大切です。危機管理について、地域の情報を常に収集し、自ら判断することが大切です。特に、日ごろから危機管理について情報収集する癖をつけることで、いざというときに早めの対応ができ、命を守る行動がとれます。

●避難所での生活

災害時は母乳が最適な栄養源になりますが、一時的に出にくくなることもあります。そんな時でも授乳を続けることで母乳は出るようになります。妊娠中の方はストレスで普段より血圧が高くなり、妊娠高血圧症候群になりやすくなります。充分な水分摂取をして、足を延ばして横になれる場所を確保してもらいましょう。お腹が目立たない妊娠初期でも同様です。周囲に妊娠中であることを伝えることが難しくても、マタニティマークを付けるなどで配慮してもらうことが大切です。

非常時における乳幼児期の赤ちゃん返りや夜泣き、乱暴な言動などの【異常な行動】は、【非常時における正常な行動】です。周りの大人は大きく受け止め、しっかりと抱きしめてあげましょう。

公立久米島病院だより

9・10月の休診日：毎週日曜・月曜、9/22日（火）、23日（水）

☎985－5555
受付時間／午前8時30分～11時
午後1時～4時

こんなときは産婦人科へ

公立久米島病院　産婦人科医
上原　知子（ウエハラ トモコ）

産婦人科は、妊娠の時に行くものと思っていませんか？
月経の異常（量、痛み、乱れ）、感染症やがんも産婦人科で診療します。
また、避妊の相談や、旅行や大事な予定で月経日をずらしたい場合にはホルモン剤で調整することもできます（自費となり、避妊用ピルの処方では定期的な血液検査が必要になります）。
産婦人科は毎週木曜日が診療日となっています。気になる症状があればお気軽にご相談ください。

●次のような症状があるときは、積極的に産婦人科を受診しましょう。

- 月経：初経が来ない、月経がとまった、周期がバラバラ、月経痛が強い、月経がすぐに終わる
- 帯下（たいげ）（おりもの）：おりものが増えた、においが気になる、色がついている
- 不正出血：月経以外の時期に出血がある、性交時に出血する、排尿・排便時に出血に気づいた
- 痛み：月経以外にも下腹部に痛みがある、排尿時や排便時に痛みがある、性交時に痛みがある、腰が痛い、いつも下腹部がジクジクと痛い、急におなかが痛くなった
- 腫（は）れ物：おなかが張る、尿や便がでにくい、尿に行く回数が増えた、太ったと感じる
- 外陰部（がいいんぶ）：何かできている、何かでてきている、かゆい、痛い
- その他：尿がもれる、体重が急に減った、妊娠していないのにおっぱいがでてくる

●子宮頸がん検診を受けましょう。

子宮頸がんの発生原因として、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が明らかになっており、多くは性交渉によって感染します。近年、性交開始年齢の若年化にともない、子宮頸がんが若い女性に急増しています。
初期の子宮頸がんはほとんど自覚症状がなく、定期的ながん検診を受けること、また不正出血などがあればすぐに受診してできるだけ早期に発見することが大切です。性交渉の経験があるなら、20代から子宮頸がん検診を受けましょう。

参考資料：産婦人科学会編著「HUMAN+ 女と男のディクショナリー」

「子どものサインに気づく」

～親子の対立を減らす親子関係の作り方：「親業」から学ぶ④～

公立久米島病院　小児科　渡邉　幸

子どもが問題を抱えている時それをどのように表すでしょうか？　学校生活や友達との事、親に対して、不満を抱えている時ストレートに伝えられる子どもは実は少ないです。親が「何か困っているの？話して？」などと質問攻めにしても、心の扉が開いていなければ打ち明けないでしょう。
「子どもが問題を抱えている時、それは『ネガティヴな行動』として現れることが多いことを親は知る必要がある」とゴードン博士は言います。食事を食べない、親を無視する、暴言（「○○なんて居なくなればいい」）等の子どもの行動は「サイン」と捉えた方が良いでしょう。このような時に親のとる態度がふた通りあります。

A）子どもの「行動」に反応する

「なんで食べないの！」「人の事を悪く言わないの！」と子の言動を注意します。すると、子どもは感情を対処しきれなくなり、もっと怒り出し、今の苦境を誰かのせいにし始めます。大人はさらに苛立ち、子どもを責めて、ダメ出しをし、問題を解決する機会は閉ざされます。

B）子どもの「感情」に目を向ける

このような時に子どもの感情を引き出す声かけは、
①**状況をそのまま言う**（例：食べたくないのね、今話したくないんだな）
②**本人の言葉を繰り返す・言い換える**（例：そう思うくらい嫌な気持ちなんだ）
です。これだと親は怒らずに対応できます。そして子どもの強い感情は少し和らぎます。子どもの強い感情は、「泣くな！怒るな！」と言って収まるものではないのです。大人が**共感**と**理解**を持って受け入れてはじめて、その感情の“とげとげ”が消えます。
その後、子どもが抱えている問題について語り始めたら、親の意見を挟まず最後まで聞いてあげましょう。もし語り出さなければ、無理に聞き出す必要はありません。
子どもにとって大切なのは、大好きな親に「気持ちを受け止めてもらう」という体験です。それが背中を押し、後は自分の力で歩み出したりします。まずは、今日のお子さんのサインに気づくことから始めてみましょう！

夢つむぐ島

～島人みんなで織り上げる未来～

シリーズ8.「島を訪れる、島に帰る人たち」のために

島の現状と施策の方向性

久米島では長年、さまざまな形で「島のブランド確立」に向けての取り組みが行なわれてきました。しかしながら、未だに海外や他府県で「久米島」と聞いて、即座にイメージできるものはほとんど無いというのが現状です。沖縄県内の人でも、久米島の位置を知らない、行ったことがないという人が見受けられます。

その原因のひとつは、島内の連携の弱さであったと考えられます。観光で打ち出すイメージ、産業で打ち出すイメージが一貫しておらず、産業の中でも、農業、漁業、商業では微妙に違ったニュアンスのブランディングが展開されてきました。しかし、全国的に人口が減少し、地方自治体では首都圏からの移住希望者の争奪戦になりつつある現状では、島が一丸となり、「子育て」「教育」「医療」「福祉」「農業」「漁業」「商工業」「行政」そして「人々のライフスタイル」までが一貫したメッセージを持ち、それを久米島らしさ＝ブランドとして構築する必要があります。第２次久米島町総合計画策定のプロセスでも、住民ヒアリング、ワーキングチーム、審議会など多くの場面で「分野を超えた連携」「オール久米島」という課題があがりました。

その軸となるのは、海洋深層水の複合利用を軸とした分野を超えた連携、そして、先人たちから大切に受け継がれてきた久米島の伝統文化です。それらを融合し、「久米島ブランド」として発信することができれば、かつてのような交易力と自給力に満ちあふれた活気ある久米島を取り戻すことが可能になると考えます。

島の主力産業のひとつである観光の振興は島の経済を支えるだけでなく、島を多くの人に知ってもらい、ひいてはUIJターンのきっかけにもなります。『久米島町景観条例』にのっとった島づくりは、住民の快適な暮らしと同時に観光振興にとっても重要な条例です。また観光に関しては2019年（令和元年）に策定された『第2次久米島町観光振興計画』があり、現在はこの計画にのっとって「久米島ならでは」の観光振興を目指しております。

人口減少に歯止めをかけるためには、島が一丸となって久米島ブランドを確立し、観光産業や交流事業を通して交流人口を増やすと同時に、島での生活に関する情報発信が大変重要であります。そして、久米島町で現在、最も移住相談で課題となっているのが住まいが不足していることです。住まい不足解消に向け早急な対応が必要となっております。

基本計画に位置図けられた事業の一部を紹介します

●移住定住促進体制整備事業（企画財政課）

事業内容	移住・定住の推進を図るため、島ぐらしコンシェルジュを配置し、①島のしごと・住まい・くらし等の情報収集、②島内外への情報発信やPR、③移住やUターン者を誘う取組、④定住後のサポートを行っております。 他にも島外でのイベントを通して町のPRを行い、関係人口・交流人口の拡大を図っています。	
成果目標	コンシェルジュを通して移住が決定した人数	基準値H29年 21人 ⇒ **R1年 25人**
事業効果	平成28年度から移住相談専用窓口「島ぐらしコンシェルジュ」を設けたことで、久米島への関心から、移住相談までもっていくことができました。これまで107名の移住が実現しました。令和2年7月末現在、移住希望登録者数436名（問い合わせのあった方には登録していただくよう案内しています。）	
改善点又は今後の取組方針	平成28年度から移住相談専用窓口として活動してきましたが、町の人口減少に歯止めはかかっていません。現在課題として捉えていることは「住まい」についてです。 久米島町への移住定住促進の大きな課題である「住まい」の不足解消に向けて取り組んでいきます。	

農業委員会だより

農業委員会総会（許認可業務の審議会）が開催されました。
町農業委員会では、7月27日仲里庁舎において、令和2年度4回農業委員会総会を開催し、申請のありました案件を審議しました。

① 農地法第3条の規定による許可申請　→ 2件　審議の結果許可されました。
② 農用地利用集積計画（案）に係る意見決定について　→ 1件　審議の結果許可されました

許可申請書及び届出書等の申請締め切り日　→ **9月15日（火）**
令和2年度第6回（9月）農業委員会総会の開催日　→ **9月25日（金）**

老後の備えとして 農業者年金

どんな人が加入できるの？

次の3つの要件を満たす方であれば、どなたでも加入できます。

① **年間60日以上農業に従事**
② **国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く）**
③ **60歳未満**

農業者年金の特徴

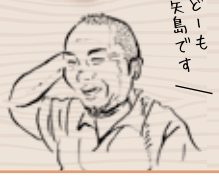
- 積立て方式で安心
- 加入・脱退も自由
- 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象
- 一定要件を満たす農業者には保険料の国庫補助がある
- 終身年金 80歳までの死亡一時金あり

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。
独立行政法人 農業者年金基金 TEL03−3502−3199（専門相談員）

お問合せ　農業委員会　☎985−7134

たから家や 12
House is a treasure

「相続や管理に関する制度」について



こんにちは、島コン矢島です。このコラムを作成しているのが、8月上旬なのですが、まだ、今年は台風に遭遇していません。生活する分には、良い傾向なのですが、自然環境としてはいかがと考えてしまいます。

さて、前回、久米島町空き家活用補助金の説明、問題点をお伝えしました。今回は、その問題の一つになっている相続や管理に関する制度についてお話ししますね。次回からまた、空き家の活用事例に戻ります。

前回、補助金を活用しようと思っても、相続や管理形態が不十分で利用が難しいと問題点を挙げました。しかし、最近の法改正で、比較的その問題を解決でき、有効だと思われる二つの制度がありましたので紹介します。

まず一つ目の制度が、「法務局の自筆証書遺言書保管制度」です。これは、自筆での遺言書を法務局が預かる制度で、弁護士や公証人への依頼の必要もなく、費用も1件あたり3900円と割安で利用しやすく、効力も必要事項が網羅されていれば、今までの遺言と変わりません。万一、ご自身が亡くなった後の遺産分割の心配が軽減されます。

そして、二つ目の制度が、「不動産の家族への信託制度」です。これは、家族で不動産をだれが管理するかを決め、家族間で契約を結び、それを登記することもできる制度です。これを利用すれば、信託を受けた家族は、所有はしてないものの、活用や管理が所有者と同程度に行うことができます。

いずれも、次の代の負担を少なくするために有効な制度だと思いますし、今までに比べると比較的簡単に利用できるものと考えます。ご興味がおありであれば一度、空き家活用相談で、一緒に考えていきましょう！

※9月の空き家活用相談は、新型コロナウィルス感染症対策のため、お電話で問合せください。

お問い合わせ先　場所：コワーキングスペース仲原家（字真謝20番地）　☎894−6488　info@shimagurashi.net

久米島版DMO推進協議会が設立されました

DMOとは、(Destination Management Organization ディスティネーション マネージメント オーガニゼーション)の略。

国は、「まち・ひと・しごと創生基本方針」において、「地域の観光振興を戦略的に推進する専門的な組織として日本版DMOを早急に育成する」ことが盛り込まれ、地方創生の柱の一つとなっています。

DMOは、官民一体となり地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を持って観光地づくりに取り組むことから、「多様な関係者」との幅広い連携を図り、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略の策定と、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。

久米島町では、平成30年度に「第2次久米島町観光振興基本計画」を策定いたしました。(期間は、令和元年度からの5年計画)「第2次久米島町観光振興基本計画」では、観光振興基本理念として「久米島らしさ」を掲げ「“訪れる人”だけでなく、久米島で“生活する人”も満足する久米島ならではの観光を実現する」ことを目標としています。

この目標を達成するために、久米島町の地域経済5団体が主体(久米島町観光協会、久米島商工会、久米島漁業協同組合、JAおきなわ久米島支店、久米島紬事業協同組合)となり、住民と一体となった『チーム久米島』による地域経営・地域戦略が必要不可欠です。

その取り組みとして町では、沖縄離島活性化推進事業を活用し、地域経済5団体や地域団体と勉強会・検討会を重ね、地域DMOとなる「久米島版DMO推進協議会」の設立を進めてきましたが、一般社団法人登記等を経て6月に同協議会が設立されました。

『チーム久米島』を担う「久米島版DMO推進協議会」により、戦略的な地域経営に取り組み、島の発展・活性化を目指します。

和田 ひとみ

【事務局長紹介】

こんにちは！7月より(一社)久米島版DMO推進協議会の事務局長に就任させていただきました鹿児島出身の和田ひとみです。久米島の観光振興を島民や島内関係団体のみなさまと一緒に”全島テーマパーク”となるお手伝いができればと思っています！観光業は全ての業種と絡むことのできる面白くてやりがいのある仕事です。チーム久米島として島民中心となった観光地のあり方を作る上での”スパイス”になれたらと思います。趣味はキックボクシングです。色々とお世話になりますが、どうぞ、宜しくお願い致します。

民家さん募集中!! 教育旅行受入

久米島町では教育旅行の受け入れのため、民泊事業に取り組んでいます。町観光協会では、各家庭の民泊受入家庭が、安心安全な受入ができるように毎年、研修会を行っています。

今年度は7月21日(火)にイーフ情報プラザで実施し、18名が参加しました。

研修会では、沖縄県南部保健所獣医師の今井主任技師から「食品衛生」「ペットの取扱いについて」の説明、公立久米島病院折戸看護師長は「新型コロナウイルス感染症市民向け感染予防ハンドブック」をもとに説明しながら、市販のハイターを使用した消毒液の作り方などをわかりやすく教えて頂きました。参加者はそのほか「応急手当WEB講習」の受講、また町消防本部での応急手当講習会と消火器の取扱い訓練を行いました。

今年度、離島他県交流促進事業や教育(修学)旅行を合わせて13校の学校が来島予定となっており、久米島町観光協会は、安心安全な受入れの為に新型コロナウイルス感染症感染防止のガイドラインを策定し、受入体制を整えています。

民泊・ホームビジット(日帰り民家体験)で行なうこと

＊家族の一員として受入します
＊食事は生徒と一緒に作ります
＊家業体験をさせます
(農業・漁業・サービス業などや家庭菜園など、簡単なお手伝いでOKです)

教育旅行の民泊やホームビジット受入れに興味のある方は、是非、ご連絡ください！

(一社)久米島町観光協会
☎ 851-7973

兼城港ターミナル

令和2年8月5日に兼城港ターミナル新築工事の安全祈願祭を行いました。現在使用している兼城港ターミナルの老朽化に伴い新しい施設を建設するものです。工事期間は来年3月末を予定しており、その間町民の皆さまをはじめ兼城港をご利用する方々にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

兼城港安全祈願祭

完成イメージ図

お問合せ　建設課　☎985-7125

納骨堂

令和2年7月15日に納骨堂建築工事の安全祈願祭を行いました。

久米島斎場に隣接する箇所に共同墓としての納骨堂や位牌を預かる機能を持った複合施設の整備を行っています。

工事期間は来年3月末までを予定しています。

安全祈願祭

完成イメージ図１

完成イメージ図２

お問合せ　環境保全課　☎985-7126

＊上下水道課 下水道班よりお知らせ＊

水道水のにごり

台風直後に水道の利用が急激に増えた場合や、火災のため消火栓を使用した時、また修繕工事をおこなった直後など、水道管に流れる水道水の方向や速度が変化したときににごりが発生する場合があります。

赤い水が出たとき

原因：鉄分や赤土などの混入が主な要因です、通常は排泥管や消火栓から強制的に排出しますが、一部が皆様のご家庭の給水管に流入し、蛇口から赤い水となって出る可能性があります。

対応：コップなどに水道水をくんで赤みがある場合は飲用や洗濯への使用は控えてください。しばらくバケツなどに溜めて、樹木や庭の散水などに利用してください。

白い水が出たとき

原因：水に溶け込んだ空気（窒素、酸素、二酸化炭素など）が気泡となって現れたもので、健康への被害はありません。

対応：無害であり、自然に収まるので飲用など使用してもかまいません。

砂が出たとき

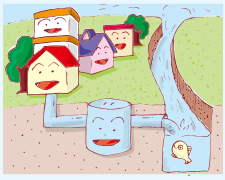
原因：水道管の工事を行うとき、砂や泥が水道管に混入しないよう細心の注意をはらっておりますが、ごくまれに砂が混入してしまうことがあります。

対応：一時的な現象ですので、しばらく水を流すとおさまります。

以上の現象が出た場合は、しばらく水を出して様子をみていただくとおさまりますので、申し訳ありませんが、４～５分ほど水を流してくださるよう、町民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

それでもおさまらないときは上下水道課へご連絡ください。

9月10日は「下水道の日」です
公共下水道への接続をお願いします



9月10日は「下水道の日」です。下水道のことを知り接続向上に努めましょう。

公共下水道は、清潔で快適な生活環境や川や海の水質保全のために欠かす事のできない大切な施設です。

公共下水道が整備され、使用できるようになった区域では、トイレや台所、浴室などの汚水を直接公共下水道へ流していただくことになります。接続へ皆様のご理解とご協力をお願いします。

【接続工事について】

くみ取り式便所や浄化槽を改造して下水道に接続する排水設備工事は、住民の皆様が費用を負担して行う工事となります。

公共下水道接続後、５年間は下水道料金を免除します。（新築・会社等は除く）

久米島町では「久米島町排水設備指定工事店」を定めています。指定工事店以外で排水設備工事を行うと、無資格工事となり、やり直しや罰則が科せられますのでご注意ください。

【貸付制度】

久米島町では排水設備工事のための手助けとして、無利子での改造資金の貸し付けを行っています。

貸付制度・指定工事店について詳しくは上下水道課へお問い合わせください。

※問い合わせ先：久米島町上下水道課　☎985-2066

令和２年度空き室待ち入居希望者募集

美崎町営住宅（１室）が空き室となり、入居希望者を募集します。
また、令和２年９月１日以降、空き室が発生することを予想し、入居希望者を募集します。
なお、美崎町営住宅以外に空き室が発生しない場合は、入居できないことがありますのであらかじめご了承ください。

【規　　格】３LDK
【選考方法】実態調査及び公開抽選により入居順位を決定します。
【受付期間】令和２年９月１日（火）～９月25日（金）
【入居資格】
①現に同居しようとする親族（婚姻の届け出をしていないが事実上婚姻関係にあるもの、その他の婚姻の予約者も含む。）があること。
②町内に住所を有する者
③月収（同居親族に収入がある時は合算した額）が次の額以下であること。
一般世帯　158,000円
裁量世帯　214,000円（高齢者世帯、障害者世帯など）
④現に住宅で困窮していることが明らかなものであること。
⑤町税等の完納者であること。
⑥入居しようとする者又は同居しようとする親族が暴力団員でないこと
【提出書類】
①町営住宅入居申込書・同意書（仲里庁舎・総務課と具志川庁舎・総合窓口で配布中）
②婚約者は、婚約を証する書類（婚約者は、入居許可の日までに婚約届の受理証明書を提出できること。）
③不当な立ち退き請求を受けているものは、立ち退き請求を証する書類。
【申し込み制限】入居申込者一世帯につき一通に限ります。
【町営住宅所在地】比屋定・宇江城・仲村渠・具志川・大原・北原・久間地・山城・美崎
【申込書配布】
日時：令和２年９月１日（火）から
場所：仲里庁舎（総務課）、具志川庁舎（総合窓口）
※久米島町ホームページからもダウンロードできます。
【お問合せ・提出先】総務課　行政班　☎985－7121

新型コロナウイルス感染症により影響を受けた事業者の皆さまへ

各給付金について

お問合せ
商工観光課 ☎851－9162

【持続化給付金】
新型コロナウイルス感染症の影響により、ひと月の売上が前年度同月比で50%以上減少している事業者が対象。給付額上限は法人200万円、個人事業者100万円。
申請期限：令和3年1月15日

【家賃支援給付金】
5月～12月の売上高について、１ヵ月で前年同月比50％以上の減少、連続する3ヵ月の合計で前年同月期比30%以上減少している事業者が対象。給付額は支払賃料×2/3の６ヵ月分（賃料等の条件により給付額が変わる場合があります。）
申請期限：令和3年1月15日

【雇用調整助成金】
新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動が縮小を余儀なくされ、一時的に休業等を行った事業者が、雇用している労働者に対して休業期間中に支払った休業手当等のうち最大で10/10を助成。助成額の上限は対象労働者1人1日あたり15,000円
申請期限：支給対象期間（休業期間）の末日の翌日から2ヵ月以内で9月30日が期限（12月末まで延長される見込み）

【休業支援金・給付金】
令和2年4月1日～ 9月30日までの間に、事業主の指示により休業した労働者で、その休業に対する賃金（休業手当）を受けることができなかった方
休業前賃金の8割（日額上限11,000円）を休業実績に応じて支給。
申請期限：令和2年9月30日

令和２年国勢調査を実施します

お問合せ　総務課 ☎985－7121

①調査の目的

国勢調査は、統計法（平成19年法律第53号）第５条第２項の規定に基づいて実施する人及び世帯に関する全数調査で、国及び地方公共団体における各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的としています。

②調査の期日

調査は、令和２年10月１日午前０時現在で行います。

③調査の対象

日本の常住している全ての人及び世帯を対象とします。

④調査の方法

調査は、インターネットで回答するための書類と紙の調査票を同時に配布します。調査票の提出方法は、次のいずれかの方法を世帯が選択することができます。

具志川庁舎閉庁・移転のお知らせ

久米島町役場具志川庁舎は、令和２年９月25日(金)をもって閉庁となります。
具志川庁舎閉庁後、下記のとおり移転いたします。
また、庁舎移転に伴い電話番号・FAX番号が一部変更となります。

移転日：令和２年９月28日(月)

部　署	移転前(9月25日まで)				部　署	移転後(9月28日から)		
	施　設	電話番号	FAX 番号			施　設	電話番号	FAX 番号
教育委員会	具志川庁舎	985-2287	985-2856	→	教育委員会	博物館	985-2287	★996-2254
上下水道課		985-2066		→	上下水道課	あじま一館	985-2066	985-2856
総合窓口		985-2001		→	総合窓口		985-2001	
商工観光課	あじま一館	851-9162	851-9238	→	商工観光課	仲里庁舎２階	★985-7131	★985-7080
マラソン事務局		985-7106		→	マラソン事務局		985-7106	
楽天協力会		985-2322		→	楽天協力会		★985-8222	

★は変更がある箇所です。

総合窓口でできること

総合窓口では、移転後も変更なく、下記のような業務を行っています。

証明書等の発　行

【町民課】●住民票　●戸籍　●印鑑証明　●身分証明書
●離島住民割引カードなど
【税務課】●税務課関連の諸証明書

税金・料金等の支払

【税務課】●固定資産税　●町県民税　●自動車税
【福祉課】●国民健康保険料　●後期高齢者保険税　●保育料
【教育委員会】●幼稚園料　●教職員住宅使用料など
【給食センター】●給食費

各種申請や手続き

【福祉課】●各種助成・手当等の申請　●介護保険に係る手続き
●国民健康保険及び後期高齢者医療に係る手続きなど
【商工観光課】●離島割引小児運賃・身障者割引等の還付申請
※取扱いできない業務もありますので、お問合せください。

相談

■無料法律相談について

内容 財産、相続、金銭、賃借、契約などの法律問題

日時 9月10日（木）
午前10時～正午
午後1時～午後4時

場所 仲里庁舎1階会議室

※予約制とします。当日受付も行いますが、予約の方が優先となります。

※相談時間は一人30分

お問合せ 総務課 ☎985-7121

イベント・行事

■久米島町文化協会イベント

今年度予定していました久米島町文化協会イベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とさせていただきます。

中止イベント
- 第11回古典民謡大会
- 工工四の日（9月4日）
- 文化祭（11月3日）

お知らせ

■宇江城城跡の一部利用制限について

宇江城城跡は令和2年7月の大雨によって崩落範囲が拡大し、頂上部（一の郭）の石積みが広い範囲で崩れました。以後、安全対策として一の郭の東側半分にロープを張って立入を制限しております。また、これまで同様石積みの上に乗ることも禁止しております。

崩落現場の石積みは不安定になっており、危険な状態となっているため、ロープや柵を超えて近づかないようにお願いいたします。

復旧については、今年度から整備委員会による指導のもとで崩落原因の解明や修復方法について審議しながら進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

■下地原洞穴入口のお墓を管理されている方へ

町指定文化財「下地原洞穴遺跡」の洞穴入口前が、近年の風水害によりお骨が散乱している状況となっています。文化財の利活用に支障がでている為、博物館では下地原洞穴入口周辺の清掃・整理を予定しております。つきましては9月以降に散乱しているご遺骨、厨子甕の整理・移動を予定しておりますので、お墓の管理をされている方は下記までご連絡頂きますようお願いいたします。

お問合せ 博物館 ☎896-7181

9/1～10/9の 主な日程

1	火	・区長会
2	水	旧盆（ウークイ） ・公立幼稚園・小学校・中学校特休
3	木	【記念日】久米島観光の日（球美の日）
6	日	・救急医療週間～12日
9	水	・救急の日
10	木	・無料法律相談
16	水	・乳幼児健診、５歳児健診（改善センター）～17日
18	金	・巡回登記 ・肉用牛セリ市
20	日	・久米島町職員採用試験
21	月	敬老の日
22	火	秋分の日
24	木	・農業用廃プラ受入日
25	金	・農業委員会総会
10月		
1	木	・区長会
9	金	・児童手当支給

年末調整手続きの電子化

■年末調整手続の電子化について

令和２年10月以後に従業員が提出する**生命保険料控除等に係る控除証明書等**について、**電子データ**による提供が**可能**になります。電子データを利用し**年末調整手続を簡便化**するため、**国税庁**が**「控除申告書作成ソフトウェア」**を**無償提供**します（令和２年10月リリース予定）。

■年末調整手続の電子化の詳細

年末調整手続の電子化の詳細については、国税庁ホームページの「年末調整手続の電子化へ向けた取組について（https://www.nta.go.jp/users/ gensen/nenmatsu/nencho.htm）をご覧ください。

予防接種は遅らせないで下さい

新型コロナウイルス感染防止の為、外出を控えている方も多いと思いますが、予防接種と乳幼児健診は、遅らせずに予定どおり受けましょう。

予防接種のタイミングは感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。

予防接種の接種率低下により、今まで流行していなかった感染症が流行する危険もあります。お子さまの健康が気になるときだからこそ、決められた時期に予防接種を受けることが大切です。

【お問合せ】福祉課 ☎985-7124

■お知らせ「Kume Info」は、ホームページ、FMラジオでもお伝えしています。
久米島町役場ホームページ、http://www.town.kumejima.okinawa.jp
FMラジオ[89.7MHz]：ラジオ広報ハイサイくめじま 放送時間：平日午前10時～11時・午後5時～6時（再放送）

風の帰る森 定期便り

第52号

今月の担当
帰風舎 事務局
上月 幸雄

続・施設一般開放について

依然として新型コロナウイルスによる影響は島内でも大きく出ているように思います。

その中、風の帰る森も8月より宿泊や飲食がスタートをしました。多くの町民の皆様にご利用頂けるよう3世代での宿泊や、親子でのんびり過ごしてもらえるように工夫をしています。建物共用部は学童クラブも兼ねているため、日曜・祝日以外は子どもたちで賑やかになります。少しでもゆっくりと過ごして頂けるよう試行錯誤を重ねながら準備を進めています。

△風森学童夏祭りの様子

△学童クラブの様子

さて、一般開放についてですが前号にも記載した内容と重複しますが、来館される際は感染拡大防止対策を守っていただくことになります。

状況に応じて入館規制を行うこともありますので、今一度ご理解くださいますようお願いいたします。

引き続き最新情報については、webサイトやSNS等で発信していきます。

（8月11日現在）

△客室の一例（寝具マットレスは参考配置。宿泊人数によりレイアウト変更）

お問合せ　プロジェクト推進課　☎098-985-7141　一般社団法人帰風舎 mail@kazenokaerumori.com　☎098-996-3301

風の帰る森はwebサイトにて進捗情報を発信しております！

URL： http://kazenokaerumori.com　@kazenokaerumori　kazenokaerumori

広告

久米島んちゅ割でお得に泊まろう！ in那覇市

キッチン調理器具・洗濯機・乾燥機完備♪長期滞在にもおすすめ！

前島

住みんちゅホテル前島
泊港から徒歩3分
1泊 5,800円
（宿泊最大人数／2人）

コーラルゲートイン久米
1泊 10,000円
（宿泊最大人数／5人）
泊港から車で10分

久米

本島全域に物件あり！最大11名泊まれる物件も！ 098-923-5555 営業時間 9:00-20:00（年中無休） 中部興産株式会社

広告

健康保険証がご利用できます

からだの痛み・悩みを

自宅で解消！

ご自宅まで往診します

＼こんな方にオススメ／

肩や腰の痛み なかなかとれない方

ご高齢や障害、そのほかの原因で外出が困難

75歳以上のご高齢者 からだに障がいのある方

治療内容 リハビリ、機能訓練、はり、お灸、マッサージ

琉球治療院 久米島店

詳しくはwebを検索！ 琉球治療院 検索

お気軽にお問い合わせください【営業時間 9:00～18:00】
TEL.098-985-5070

Universal Design UD FONT

本誌はメディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザー検定3級取得者の確認・校正作業を経て発刊しています。

広報誌「広報くめじま」はユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

2020（令和2年）8月号　発行／久米島町役場　編集／久米島町役場総務課　TEL.098-985-7121　FAX.098-985-7080
久米島町役場ホームページ http://www.town.kumejima.okinawa.jp FMラジオ／ラジオ広報ハイサイくめじま　平日午前10時～11時・午後5時～6時［再放送］